

## ● オグズ ジャン タルガイ さん

### <プロフィール>

国籍:トルコ

日本留学時の学歴:1998年10月～2002年9月、新潟大学(博士課程)

専攻分野:土壌学、土壌微生物学、土壌環境学

現在の所属/職位:アンカラ大学/准教授

### <研究報告>

受入れ期間:2010年1月20日～2010年3月31日(71日間)

受入れ大学:新潟大学

①研究課題 / Theme of Research

INTRODUCTION OF MODERN SOIL CLEANUP TECHNOLOGIES (BIOREMEDIATION) TO THE PROBLEMATIC SITES IN TURKEY

②研究概要 / Outline of Research

TO ADAPT BIOREMEDIATION TECHNOLOGIES OF JAPAN TO THE PROBLEMATIC SITES IN TURKEY THROUGH LAB. OBSERVATIONS-TRAININGS AND SITE VISITS

③研究成果 / Results of Research

IMPROVEMENT OF KNOWLEDGE ON THEORETICAL AND PRACTICAL ASPECTS OF IN-SITU/EX-SITU SOIL BIOREMEDIATION.

④今後の計画 / Further Research Plan

- TO SETUP A DEMONSTRATION-SCALE BIOREMEDIATION SITE IN WHICH WE CAN EXPERIENCE A VARIETY OF BIOREMEDIATION APPROACHES

- FOCUSING ON SOIL POLLUTION PROBLEMS DUE TO INTENSIVE PEST USE AND APPLICABILITY OF SOIL BIOREMEDIATION APPROACH TO PEST POLLUTED SOILS IN TURKEY

## ● 受入研究者: 野中 昌法 教授

### ①研究課題 / Theme of Research

トルコ石油汚染土壌のバイオレメディエーションによる浄化に関する基礎研究

### ②研究概要 / Outline of Research

トルコには石油関連施設が数多くあり、その周辺では土壌の石油汚染が常在化しているが、土壌修復の専門家はトルコ国内にはほとんどおらず、学術的な基盤に乏しい。そこでトルコにおける数少ない土壌微生物学の専門家で当該分野の先駆者であるTurgay博士を招致し、我が国で実績のある土壌微生物を利用した環境修復技術（バイオレメディエーション）のトルコ土壌への適用について検討した。

### ③研究成果 / Results of Research

これまでにほとんど知られていなかったトルコ国内における石油汚染土壌の実態について講演を実施するとともに、土壌DNAを利用した分解微生物の解析法について検討を実施した。また滞在期間中に、精力的に国内の関連研究機関の研究者との交流を実施した。（株）大林組では我が国の土壌汚染修復現場を実地見学し、その管理の実際について調査を行い、また（独）農業環境技術研究所では難分解性有機化学物質の分析や分解微生物の分離法の技術移転を実施した。

### ④今後の計画 / Further Research Plan

今後、外国人研究者・Turgay博士の研究室と受入研究者の研究室間で、研究協力関係をより緊密に継続することになった。また今回のTurgay博士の来学をきっかけに、新潟大学とアンカラ大学との間で大学間協定を締結することが検討されており、今後は他分野においてもトルコとの学術的交流が進むものと期待される。